



# 個別注記表

山崎マシーナリー株式会社

自 令和 3年10月 1日  
至 令和 4年 9月30日

## 1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 資産の評価基準及び評価方法

#### 棚卸資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産……………個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)

### 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産(リース資産除く)・・・定額法

無形固定資産(リース資産除く)・・・定額法

なお、自社利用のソフトウェアについては  
社内における利用可能期間(5年)

### リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

### 引当金の計上基準

#### 貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるために、法人税法に規定する法定繰入率により  
計算した回収不能見込額を計上している。

#### 賞与引当金

従業員賞与の支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を  
計上している。

#### 退職給与引当金

従業員の退職給付に備えるため、将来の支給見込額のうち当期負担額を  
計上している。

#### 役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を  
計上している。

### その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

#### 消費税等の会計処理

税抜方式で計上している。

#### 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨預金は、決算日の為替相場により円貨に換算し、換算差額は、損益で評価して  
いる。

1. その他  
当期純利益

50,400,927円